

松戸市議会12月定例会が12月4日～20日で開催されました

電子評決システム導入に向けて

時代に即した議会運営を展開していくための組織として、松戸市議会では、各会派の代表者からなる「議会活性化委員会」を組織しています。そして、この12月議会では、電子票決システムの導入に向けて大きな一歩を踏み出しました。

現在の市議会では、●市町提出議案、●議員提出議案、●陳情・請願のいずれに関しても、議員は起立によって議案への賛否の態度を示します。これを、議長の（議会事務局の協力を得て）目視によって、賛成・反対のどちらが多数かを確認するという規則です。

しかし、近年は、各委員の賛否態度を知りたいという市民ニーズが生まれ、記名性のある票決が必要ではないかとの議論がなされていたところでした。そして、先議会の

議会活性化委員会において、議員による電子票決システムの導入に関する答申を作成しました。

みのわ信矢も議会活性化委員の一人としてこの答申作成に加わり、より分市民に分かりやすい議会運営へと歩みを進められたと思っています。今後は、電子票決システムの予算化に努力します。



常盤平地区の再生に全力投球！

常盤平団地地区の高齢化は深刻です。55才以上の方が住民の50%以上を占めると、地域性の維持が困難な「準限界集落」という位置付けになります。現在の常盤平団地地区は残念ながらこれに該当してしまっています。子育て世代など、活力を備えた世代の流入を図り、地域を活性化させる取り組みが急務といえます。

そのような環境にあって、今年2019年は、常盤平団地地区にとって大きな前進が見られました。それは、UR都市整備機構が今後の計画において、常盤平団地について、これまでのストック活用（いわば現状維持）という路線から、初めて再生（つまり建て替え）の可能性について明示したのです。私たち地元は、このURの方向性の転換を、建て替えを含めた街の再生に向けた新たなスタートとして位置付けています。

各所で毎朝演説しています

地域との対話と交流こそが政治の原点と考えるみのわ信矢は、毎朝の通勤時間帯の駅頭や街頭で、演説をしています。常盤平、八柱、五香、みのり台など、どこかの駅でみのわ信矢をお見かけの際は、市政へのご要望やご意見など、ぜひお伝えください。市民の声が生きる議会活動をこれからも続けていきます！



HPもご覧ください！

みのわ信矢

検索

連絡先 松戸市金ヶ作418-94



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部